

小さな橋を見つける

連載第3回目



本誌編集委員 植野 芳彦

橋は単に道路の一部か？

「小さな橋を見つける」の第3回目は、橋の役割にほんのすこし触れてみたいと思います。技術的な詳しい話は別な機会に譲ることにしています。リラックスしてお読みください。社会資本整備の新たな発想の一助となることを願っています。

橋は何のために架けられるのでしょうか？昨今の社会情勢からすると「橋は道路の一部だよ。」「道路はもういらないから橋もいらない。」という答えが返ってきそうです。しかし、本当にそうなのでしょうか？このコーナーは、それをできれば一般の方々にも考えて欲しくて書いています。我々技術者が悪いのかもしれませんが、良く言えば技術者の夢、挑戦心、悪く言えば自己満足から、少しでも長い物、大きい物を造ろうとしてきました。「日本一」「世界一」という称号が欲しいがために、1mでも大きい物を造りました。

しかし、橋は、確かに「道路の一部」の役割も持っていて、それだけの橋もあります。が、それだけではなく

で、大きな意味や意思、人々に何かを与える物を持った橋があるとしたいと思います。

橋は神聖なもの、橋は歴史を伝える

私の田舎、栃木にある橋の話からしましょう。橋は、地方を語るうえでも重要なものであると思います。成熟化社会を迎える前の、橋は貴重で神聖なものでありました。たとえば、日光の「神橋」は、有名ですが、



▲日光の神橋。気品が漂います

俗世界から東照宮の神域へ渡る神聖な橋です。一昨年、久しぶりにこの橋を訪れると、補修工事をしていました。

桁には、今でいう重防食塗装ともいふべき、漆の塗装がされています。単純な構造ですが見るからに、気品のある橋です。俗世界から神域への異空間を結ぶ神聖なものだと思います。

さて、だいふ西に行きますが、小倉の「常盤橋」です。常盤橋と言う名前の橋は日本国中に多数存在します。

「常盤」と言うのは、永遠にという願いを込めたネーミングだと感じられます。橋にはそのような願いも込められたことでしょう。この小倉の「常盤橋」は、長崎街道の起点にあたります。数年前、大規模な補修工事を行った後、史実に基づき（？）、大名行列が行われました。現在は紫川に架かる「木の橋」とも言われています。木橋なのですが、昔のコピーではありませんが「象が乗っても、大丈夫!!」の実践例です。皆さんの像の重さがどれくらいあるかご存



▲常盤橋。象が乗っても大丈夫

知でしょうか？だいたい4tあるそうです。残念なのは、せっかくの木の橋なのに外国産の木材が使われていることです。

龍馬脱藩の道に架けられた神幸橋 ～日本の夜明けに向かうぜよ～

今年の、大河ドラマは「龍馬伝」です。そのほかCMやさまざまなもので坂本龍馬を取り上げています。年末には、「坂の上の雲」も放映されていました。世の中は、不景気、就職難、デフレ・・・と閉塞感がたがよって、人々は「明治維新」のような改革を求めているのでしょうか。そこで昨年の「政変」とつながったと思います。

龍馬が土佐から脱藩する際に通った道が「龍馬脱藩の道」として現在の高知から愛媛にかけて残されています。



▲屋根付橋（田丸橋）

ここに、「神幸橋」という橋を架けることになったのですが、おそらく龍馬のころに橋は無かったと思います。橋を渡った先には三島神社という地域の神社があり信仰を集めて

います。この橋の形式や、屋根を付けるかどうかという問題は、さまざまな議論がなされ、屋根については「住民投票的」なことまで行われました。技術的に解決しなければなら



▲坂本龍馬脱藩の道に架けた神幸橋

ないことも多々ありましたが、私は、史実ではそうでもなく、「龍馬が明日の日本の夜明けを夢見て渡った橋だ」という思いを込めました。

屋根付橋は、アメリカでは「マディソン郡」の橋が有名ですが世界各国にあります。木造だったころの名残と、橋を大切に作る心、また、橋の上が社交場だったことも伺えます。日本では四国に多数存在しています(「田丸橋」)。「神幸橋」も橋の中央は拡幅され、開通式には神楽がの上で舞われました。そして中に

ベンチが置かれています。ある先生から、「四国に良い橋が有り、高齢者の憩いの場であり、デートスポットにもなっている。」という話をお聞きしました。「実はあの橋、私がかかっているんです・・・」と言うと、お誉めの言葉をいただきました。そう、思ってくれる方が居るだけでありがたいかぎりです。「要



▲神幸橋と三島神社

らない。」と言われてしまうと悲しくなります。

夏には、この橋の上から下の川に子供が飛び込んで遊んでいます。夏に橋の状況を見に居ていたら、子供たちが「おじさん、飛び込んでイイ？」と聞いてきました。地域とともに親しまれ生きていく橋です。本当にうれしくなりました。

橋は人々に夢を与えます。一つ一つの架けられた意義を見つけてみると面白いのではないのでしょうか？